

2020（令和2）年度 社会連携・社会貢献活動
～地域社会連携～

社会連携・社会貢献の方針	取り組み名／公的機関の委嘱／専修大学が参加している事業名	概要	連携先	取り組み期間・期日
2.地域社会連携	専修大学総合体育館プールの一般利用	専修大学総合体育館内の室内プールを一般に公開	川崎市	4月～12月
2.地域社会連携	シェアサイクルの設置	身近な地域交通における移動環境の充実を目指し、移動手段の一つとして便利で利用しやすいシェアサイクルの利用・普及促進	川崎市	2019（令和元）年8月～
2.地域社会連携	「市政だより」「議会かわさき」などの設置・配布	川崎市が作成する「市政だより」「議会かわさき」などを学内に設置・配布	川崎市	通年
2.地域社会連携	専修大学図書館の川崎市職員の利用	専修大学図書館の川崎市職員を対象とした一部サービスの提供。	川崎市	通年
2.地域社会連携	川崎市が主催する各種イベントのチラシ設置・配布	川崎市各部局等が主催する各種イベントのチラシ、ポスター、申込書等の掲示及び配布	川崎市	通年
2.地域社会連携	多摩区・3大学連携協議会	多摩区にゆかりのある専修大学、明治大学、日本女子大学と川崎市（多摩区）は、平成17年12月に協定を締結し、「多摩区・3大学連携協議会」を設立。協議会では、各大学の知的資源・人材を活用して、地域課題の解決に向けた実践的取り組みを協働で行っている。	川崎市多摩区	通年
2.地域社会連携	千代田区との「大規模災害時における協力体制に関する基本協定」	千代田区と学校法人専修大学との災害発生時及び平常時の協力体制に関する基本協定。協力内容は、次のとおり。 ①地域住民、千代田区在勤者等の安全確保のために大学施設の一部を一時避難場所として提供 ②大学施設に収容した被災者への応急医療資材及び備蓄物資の提供 ③千代田区から要請のあった被災場所及び避難場所等への学生ボランティアの派遣	千代田区	2005（平成17）年4月1日～
2.地域社会連携	東京都との「TOKYOスポーツ施設サポーターズ事業に関する協定」	東京都と学校法人専修大学との、神田キャンパス1号館体育室1の貸出に関する協定。 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、東京都は都立スポーツ施設の改修等を行っているが、その間においても都内のスポーツ団体等の活動機会を確保するため、都内の大学や企業等に対して、所有する体育施設の貸出への協力を要請。その要請に基づく協定である。東京都は、大学等が所有するスポーツ施設に関する情報を都内のスポーツ団体に提供し、大学等はスポーツ団体から施設貸出の依頼があった場合は、貸出を行うという仕組み。 当初2020（令和2）年度9月30日までの協定であったが、東京都から、新型コロナウイルス感染症により東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が延期されたため、同協定についても期間を延長し、再度協定したいとの依頼があり、2021（令和3）年9月30日までとして再協定を行った。 なお、2020（令和2）年度から現在（2021（令和3）年6月）まで、新型コロナウイルスの影響で、貸し出しはない。	東京都	2019（平成31）年4月1日～2021（令和3）年9月30日
2.地域社会連携	多摩区・3大学連携協議会：「2020多摩区3大学Webコンサート」への出演	スウィングジャズ研究会が参加		2020（令和2）年11月～
2.地域社会連携	寄付講座（川崎市・エヌシーネットワーク）の開講	川崎市経済労働局とエヌシーネットワークの協力により、中小・ベンチャー企業の経営者が講義 中小企業経営者（担当教員 経済学部 奴田原 健悟）		2020（令和2）年9月～（後期開講科目）
2.地域社会連携	寄付講座（川崎市役所）の開講	「川崎市役所特別講座（寄付講座） 新時代の都市振興」として開講 講師：川崎市職員（担当教員 経済学部 望月 宏）		2020（令和2）年9月～（後期開講科目）
2.地域社会連携	千代田区文化財標識の設置	神田キャンパス10号館敷地にかつて存在した「今川小路共同建築」について、同建築関連の資料が千代田区の文化財指定となったため、「今川小路共同建築跡」の文化財標識を10号館敷地内に設置する願いが千代田区（千代田区教育委員会）からあった。この願いを受けて、文化財標識を設置した。 ・千代田区教育委員会との覚書締結（2020（令和2）年7月21日） ・標識設置（2020（令和2）年11月9日） ※文化財標識の設置は、区内に存在する文化財の価値や魅力を広く周知し、貴重な歴史・文化資源を将来に伝えていく千代田区の活動である。	千代田区（千代田区教育委員会）	
2.地域社会連携	専修大学経済学部「学外特別研修（インターンシップ）」	専修大学経済学部「学外特別研修（インターンシップ）」の外部講師として市職員を招き実施 ※2020（令和2）年度は中止	川崎市	
2.地域社会連携	デートDV予防啓発ワークショップの開催	恋人間の暴力「デートDV」の被害を減らすための知識を深める予防啓発ワークショップの開催 ※2020（令和2）年度は中止	川崎市市民文化局人権・男女共同参画室（講師：NPO法人エンパワメントかながわ）	
2.地域社会連携	「映像演習基礎」「応用演習（メディアコミュニケーションプログラム）」の取り組み	「映像演習基礎」で、テーマ「川崎市多摩区と専修大学の魅力」に基づき 多摩区PR映像CMを制作した。「応用演習（メディアコミュニケーションプログラム）」テーマ「川崎市内市民活動団体との活動連携」として公益財団法人かわさき市民活動センター所属10団体のPR映像、Web、パンフレットを制作した。2月にオンラインで映像交流会を開催した。	川崎市多摩区、川崎市内市民活動団体	
2.地域社会連携	ネットワーク情報学部「メディアコミュニケーション」での取組	かわさき市民活動センターおよびNPO・市民活動団体と連携を図り、映像、リーフレット、Webによるクロスメディアのプロモーションを提案し、チームで制作している。	川崎市多摩区、川崎市内市民活動団体	

2020（令和2）年度 社会連携・社会貢献活動
～地域社会連携～

2.地域社会連携	「KSパートナーシップ・プログラム」川崎市職員の専修大学大学院委託生としての受入れ	〔受入れ人数〕3名 ※3名とも大学院法学研究科法学専攻修士課程での受入れ。 〔委託生担当教員（法学部）〕長谷川聡教授、平田和一教授、良永和隆教授		
2.地域社会連携	「プロジェクト」杉田プロジェクトの取り組み	生田緑地共同事業体の協力を得て、親子で楽しむ自然体験コンテンツ「いろ色！～自然たんけん隊！～」を制作し、11月イベントを実施した。4日間で約230人の親子が体験した。今年度も卒業演習3、4（プロジェクト延長型）として取り組んでいる。		
2.地域社会連携	「応用演習（コンテンツデザイン）」の取り組み	川崎市教育委員会と青少年科学館と協働して、毎年「カガクおもちゃ」の公開展示会を実施。今年度も後期に実施予定。		
2.地域社会連携	「市政だより」「議会かわさき」などの設置・配布			
2.地域社会連携	ゼミナール等における生田緑地内川崎市関連施設の利用	「川崎市立日本民家園」「川崎市立岡本太郎美術館」「宙と緑の科学館（プラネタリウム）」など		
2.地域社会連携	ゼミナール等における福祉施設、障害者施設、特別養護老人ホーム等への学習ボランティア活動（人間科学部）			
2.地域社会連携	ネットワーク情報学部「応用演習（コンテンツデザイン）」の取り組み	川崎市教育委員会と青少年科学館と協働して、毎年「カガクおもちゃ」の公開展示会を実施。		
2.地域社会連携	ネットワーク情報学部と川崎市立川崎総合科学高等学校との教育課程指定連携に係る協定の一部更新	教育課程指定連携型推薦入試において高校が推薦することのできる人数を3名以内から5名以内に変更。		
2.地域社会連携	学校教育ボランティアによる学校サポート事業への参加（教務課資格課程）	多摩区・3大学連携事業として、川崎市多摩区と日本女子大学が取り組んでいる「学校教育ボランティアによる学校サポート事業」に参加。 ※2020（令和2）年度は中止		
2.地域社会連携	川崎市が主催する各種イベントのチラシ設置・配布	川崎市各局等が主催する各種イベントのチラシ、ポスター、申込書等の掲示及び配布		
2.地域社会連携	川崎市環境局減量推進課への協力	ネットワーク情報学部飯田プロジェクトが川崎市のゴミ収集に関し、市民への情報周知と啓蒙活動に役立つスマートフォンアプリの設計とプロトタイプ開発。2016（平成28）年4月1日から運用を開始している。		
2.地域社会連携	川崎市港湾局（川崎マリエン）とスポーツ研究所との連携（スポーツ研究所）	川崎マリエンがビーチバレーの競技別NTC（ナショナルトレーニングセンター）に指定され日本で唯一の競技強化拠点となったことから、日本バレーボール協会（JVA）とともに、地域で支えるNTCの取組を進めていく中で、特にスポーツ医科学部門での強化の推進に関し、スポーツ研究所と連携して強化拠点としての機能の充実に努める。		
2.地域社会連携	多摩区・3大学連携協議会：「夏季インターンシップ実習」の実施	期日：2020（令和2）年8月～9月 概要：多摩区役所での「夏季インターンシップ実習」の実施。2020（令和2）年度 参加学生数：2名		
2.地域社会連携	多摩区・3大学連携協議会：「多摩区民祭」への出展	※2020（令和2）年度は中止		
2.地域社会連携	多摩区・3大学連携協議会：「大学・地域連携事業」の実施	申請者：経済学部教授 小池 隆生、経済学部教授 鈴木 奈穂美 テーマ：多摩区内の住民組織活動と学生による体験的参加・交流を通じた生活ニーズ発掘・充足のためのプロセス分析事業		
2.地域社会連携	多摩区・3大学連携協議会：たまなびプログラム「たまなび発信局」の実施	3大学の学生が人やお店など地域の様々の「繋がり」を感じられるようなイベントを企画し、インスタグラムで紹介。本学からは2名の学生が参加した。		